

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	18	学校名	青翔高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	イルミネーション点灯式
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	「総合的な探究の時間」や、学校設定科目「統合科学」で、地域の課題を発見するとともに、その解決方法を探究する。
連携・協働相手	御所市企画政策部および近隣の自治会の方々
地域と共有している目標・課題等	イルミネーション点灯式の実施により、地域と学校の連携の強化や活性化をすすめる。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>1 学期には、御所市企画政策部の方に講演をいただき、御所市の現状と課題について学び、研究グループ毎に御所市活性化に向けての課題を設定し、探究活動の計画を立てた。</p> <p>2 学期には、アンケートなどの調査と結果の分析を行い、課題解決に向けて探究活動をすすめた。そして、校内で PPT（パワーポイント）を用いてクラス毎にグループ発表会を行い、討論した。</p> <p>11 月には、生徒会と吹奏楽部が中心となり、「イルミネーション点灯式」を企画した。点灯式では、「地域とともにある学校づくり」の実現を目的として、PPT を壁面に投影し、近隣の方に出席いただいた。点灯式後も12月初めまでは、夕方になるとイルミネーションを点灯し、近隣地域の方々に随時見てもらうことができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>課題解決に取り組むことで、本校の教育目標である生徒に育みたい3つの力、即ち、①課題発見・解決・設定に必要な「創造的思考力」、②科学的根拠に基づいた「総合的判断力」、③多様な考え方を尊重しチームで協働する「コミュニケーション力」の育成をすすめることができた。担当した生徒は点灯式の企画にあたって、イルミネーションのデザイン設計、吹奏楽部の演奏とコラボした進行案の提案、PPTの壁面への投影方法の工夫、スポットライトの効果的な使用などを、豊かな発想力をもって進めることができた。今年度の新たな生徒会企画として、中学生と高校生が学年の垣根を超えてグループを結成して交流する、「青翔仲よし大作戦」を展開し、成功を収めた。点灯式の様子は新聞報道され、地域の方にも注目いただけた。</p> <p>今後、特別な場面だけでなく、日常的に地域と関わりを持ち、無理なく自然に連携を深めていくことが、よりよい学校づくりにつながると考えるので、さらに地域と協働した取組をすすめていきたい。</p>

